

# 特定教育・保育施設等の利用定員について

平成28年1月  
大分市子ども保育課

本市では、「すくすく大分っ子プラン」に基づき、平成29年度末までに認定こども園、保育所等の特定教育・保育施設および小規模保育事業、事業所内保育事業等の特定地域型保育事業の利用定員を拡大し、待機児童の解消を目指しています。

## (1)平成27年5月以降の新規認可施設および移行施設

### 《新規認可施設》

※1号認定…満3歳以上、教育のみ  
 ※2号認定…満3歳以上、教育+保育  
 ※3号認定…満3歳未満、保育のみ

地区公民館	施設類型	施設名	開設年月	利用定員					待機児童数 (H27.10)	H29定員 拡大予定 (現時点)
				1号認定 (3-5歳)	2号認定 (3-5歳)	3号認定		合計		
						0歳	1-2歳			
大分中央	小規模保育事業	ゆめのほし保育園	H28.4			6	12	18	97	
大分東部	保育所	きらきら保育園	H27.10		12	3	8	23	86	30
	小規模保育事業	たかじょうえん。	H28.4			6	12	18		
	事業所内保育事業	大分どんぐりのもり保育園	H28.4			5	14	19		
大分西部	保育所	愛保育園	H28.4		35	5	20	60	58	
	事業所内保育事業	王子町保育園	H28.4			6	12	18		
大分南部	-	-						0	45	30
南大分	-	-						0	53	
明治・明野	-	-						0	56	30
鶴崎	-	-						0	57	60
大南	-	-						0	12	
植田	保育所	めいりん保育園(田原校)	H27.5		21	3	6	30	44	30
大在	保育所	かるがも保育園	H27.10		45	6	24	75	41	
	保育所	たけのこ保育園	H27.10		32	2	6	40		
坂ノ市	-	-						0	13	
佐賀関	-	-						0	0	
野津原	-	-						0	1	
市外	-	-						0	14	
合計				0	145	42	114	301	577	180

## 《移行施設》

地区公民館	施設類型	施設名	移行年月	現行 施設類型	利用定員				合計
					1号認定 (3-5歳)	2号認定 (3-5歳)	3号認定		
							0歳	1-2歳	
大分南部	幼保連携型認定こども園	キッドワールドこども園	H28.4	保育所	15	120	35	70	240
	幼稚園	すぎのこ幼稚園	H28.4	幼稚園	60				60
大南	幼保連携型認定こども園	旦の原保育園	H28.4	保育所	10	90	5	45	150
植田	幼保連携型認定こども園	かくこどもえん	H28.4	保育所	15	45	10	30	100
	幼保連携型認定こども園	東植田こども園	H28.4	保育所	9	51	8	28	96

## 《H27→H28 定員の増減》 新規認可施設、移行施設による定員増減に加え、既存保育施設の施設整備による定員拡大等すべてを合わせた定員の増減

地区公民館	①H27.4.1定員				②H28.4.1定員				②-①増減			
	1号認定 (3-5歳)	2号認定 (3-5歳)	3号認定 (0-2歳)	合計	1号認定 (3-5歳)	2号認定 (3-5歳)	3号認定 (0-2歳)	合計	1号認定 (3-5歳)	2号認定 (3-5歳)	3号認定 (0-2歳)	合計
大分中央	836	484	233	1,553	830	490	271	1,591	△6	6	38	38
大分東部	631	697	467	1,795	659	680	531	1,870	28	△17	64	75
大分西部	468	327	199	994	468	372	252	1,092	0	45	53	98
大分南部	701	582	360	1,643	715	561	355	1,631	14	△21	△5	△12
南大分	1,038	397	281	1,716	1,040	407	301	1,748	2	10	20	32
明治・明野	1,415	363	249	2,027	1,415	363	249	2,027	0	0	0	0
鶴崎	893	652	458	2,003	909	636	460	2,005	16	△16	2	2
大南	436	332	219	987	446	337	214	997	10	5	△5	10
植田	1,075	733	522	2,330	1,079	753	536	2,368	4	20	14	38
大在	390	201	185	776	390	314	207	911	0	113	22	135
坂ノ市	350	335	250	935	350	323	242	915	0	△12	△8	△20
佐賀関	107	78	50	235	113	71	51	235	6	△7	1	0
野津原	90	27	18	135	90	27	18	135	0	0	0	0
合計	8,430	5,208	3,491	17,129	8,504	5,334	3,687	17,525	74	126	+ 196	396

※1号認定定員には、私学助成の幼稚園および国立大学法人立幼稚園を含む

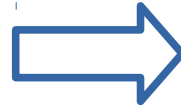
(教育部分) =322人増(保育部分)

## (2) 利用定員

《H27.4.1 現在》

単位：人

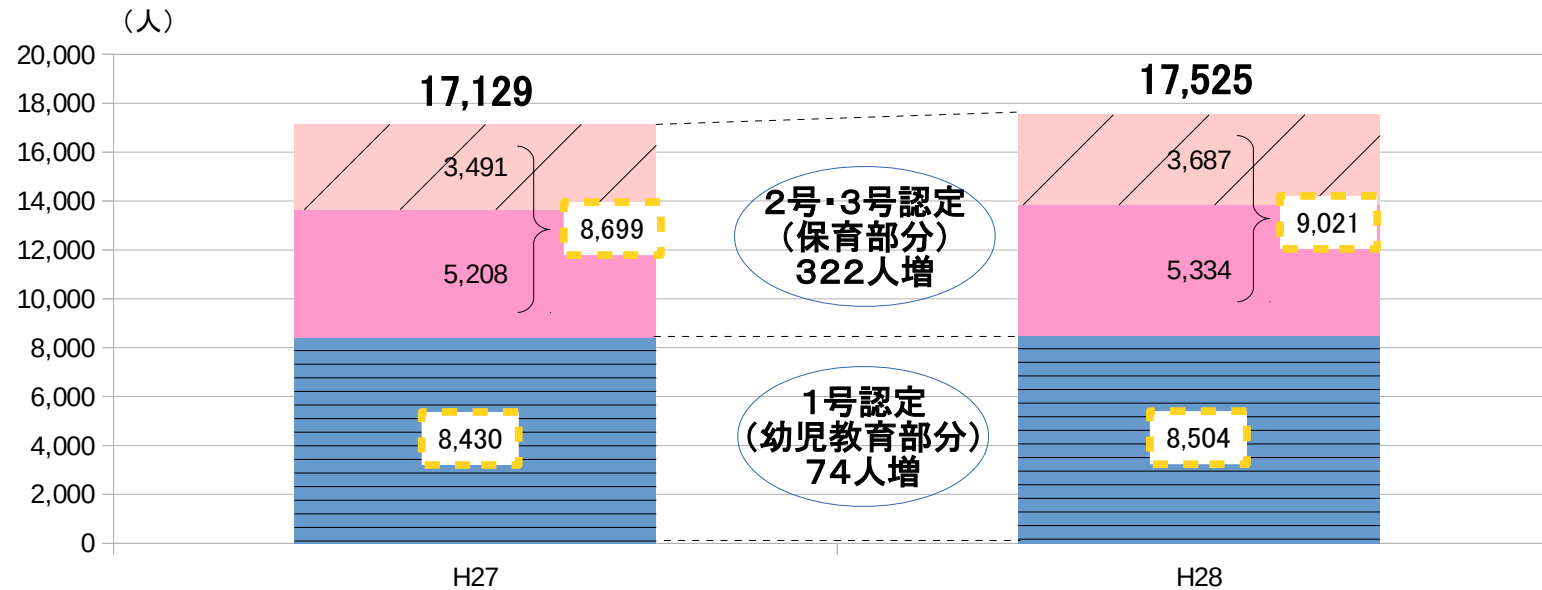
1号認定	2号認定	3号認定	合計
8,430	5,208	3,491	17,129



《H28.4.1 予定》

単位：人

1号認定	2号認定	3号認定	合計
8,504	5,334	3,687	17,525



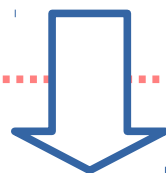
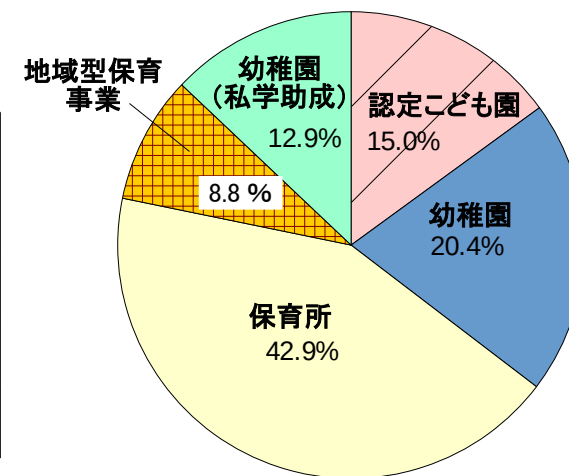
- ※1号認定…満3歳以上、教育のみ
- ※2号認定…満3歳以上、教育＋保育
- ※3号認定…満3歳未満、保育のみ

### (3) 施設構成

#### 《H27.4.1 現在》

単位：箇所

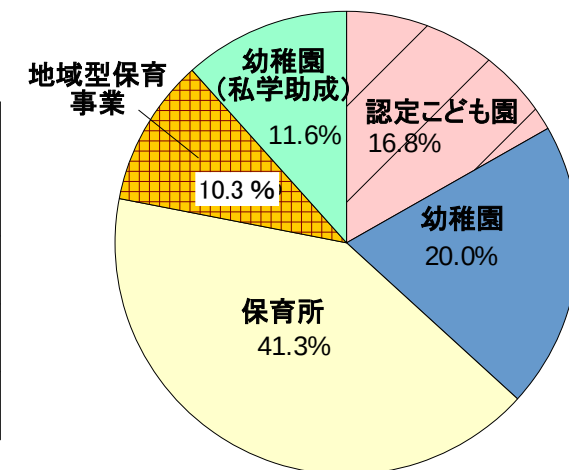
施設類型	認定こども園				私立幼稚園 (新制度)	市立幼稚園	私立保育所	公立保育所	地域型保育事業				私立幼稚園 (私学助成)	計
	幼保連携型	幼稚園型	保育所型	地方裁量型					家庭の保育	小規模保育	居宅訪問型保育	事業所内保育		
施設数	18	3	1	0	1	29	50	13	10	3	0	0	19	147
構成比率	12.2%	2.0%	0.7%	0.0%	0.7%	19.7%	34.0%	8.8%	6.8%	2.0%	0.0%	0.0%	12.9%	100.0%
	15.0%				20.4%		42.9%		8.8%				12.9%	100.0%



#### 《H28.4.1 予定》

単位：箇所

施設類型	認定こども園				私立幼稚園 (新制度)	市立幼稚園	私立保育所	公立保育所	地域型保育事業				私立幼稚園 (私学助成)	計
	幼保連携型	幼稚園型	保育所型	地方裁量型					家庭の保育	小規模保育	居宅訪問型保育	事業所内保育		
施設数	22	3	1	0	2	29	51	13	9	5	0	2	18	155
構成比率	14.2%	1.9%	0.6%	0.0%	1.3%	18.7%	32.9%	8.4%	5.8%	3.2%	0.0%	1.3%	11.6%	100.0%
	16.8%				20.0%		41.3%		10.3%				11.6%	100.0%



## (4) すすく大分っ子プランによる保育の定員拡大計画

目標：平成27年度から3カ年で3000人増

### 【積算の考え方】

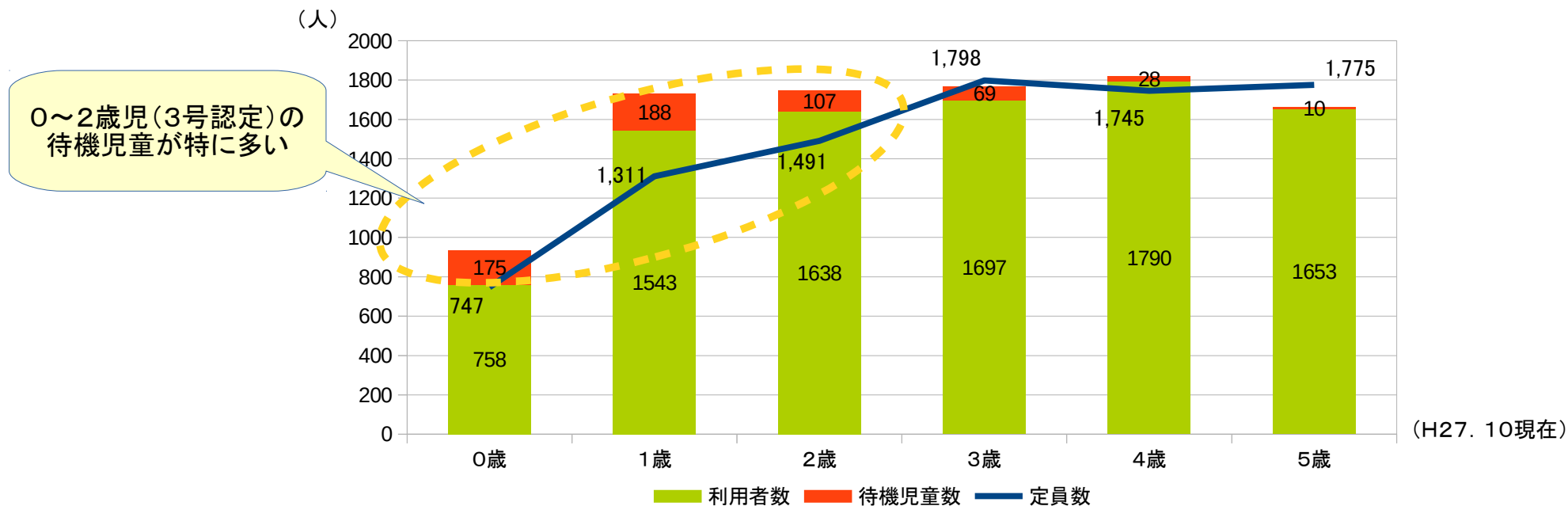
- ・平成25年度に就学前児童のいる家庭を無作為に2割抽出してアンケート調査を実施し、保育の潜在ニーズを含め、希望者全てが利用できるよう、定員数を推計
- ・定員数の推計から平成26年度の保育所等の定員(6,905人)を差し引いた数を拡大数とする

### 保育の定員拡大計画

	H27.4	H28.4	H29.4	H30.4	合計
当初の計画	1,152	1,152	707		3,011
実績	1,794	322			3,016
今後の見込み			※ 450	450	

※平成28年度中の施設整備により定員拡大が確定分180人

## (5) 年齢別利用者数と待機児童数



## (6)本市の取り組み

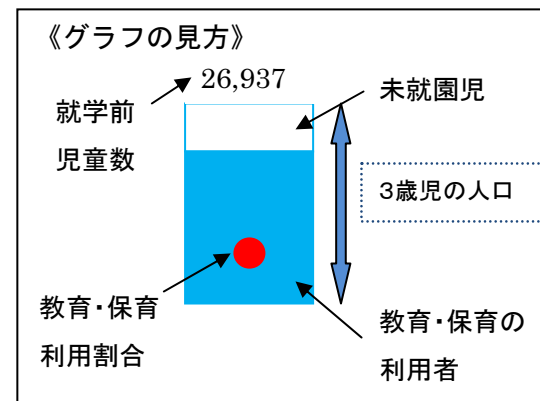
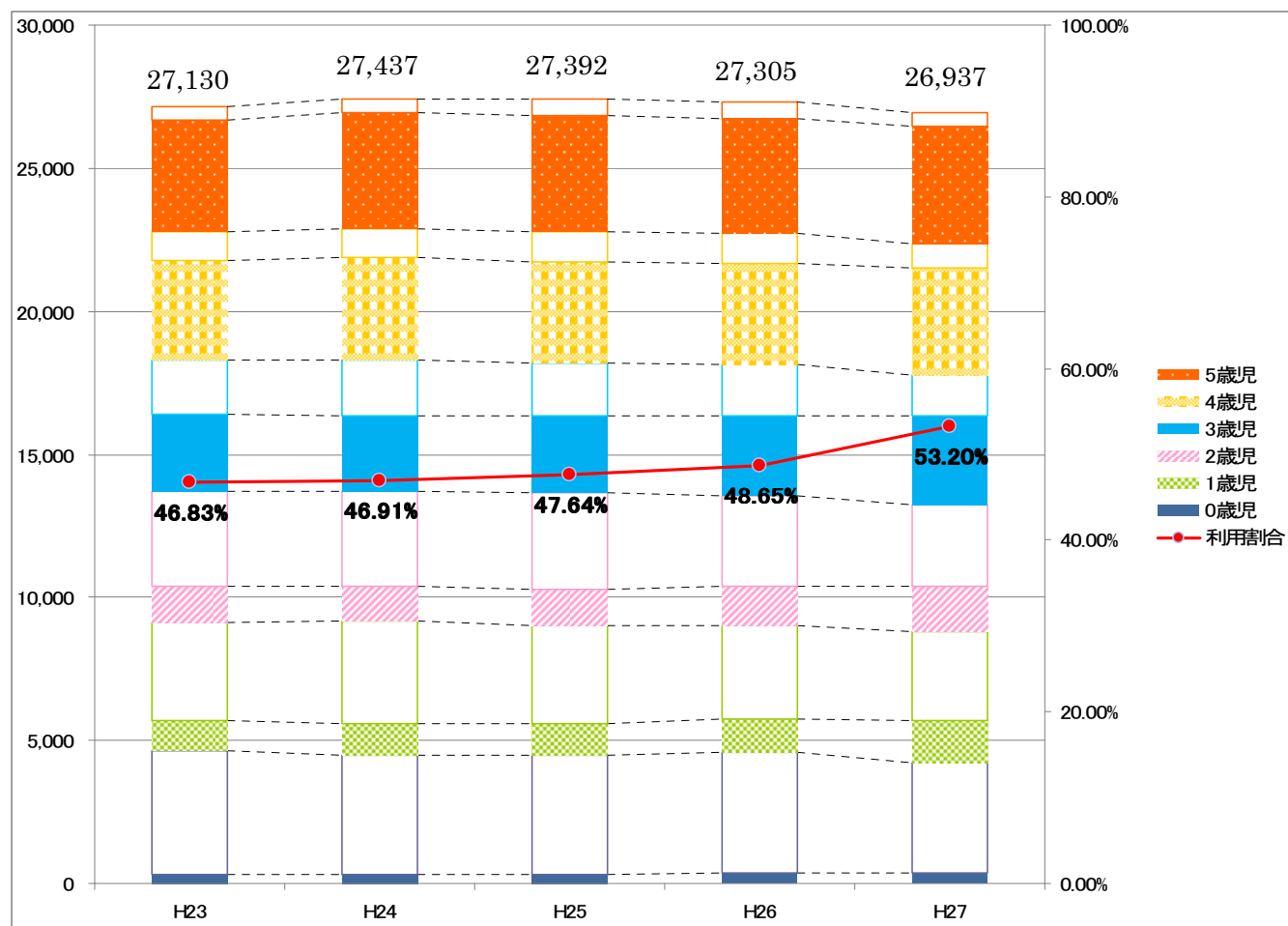
### 施設の確保

1. 民間既存施設からの幼保連携型認定こども園への移行
2. 既存施設整備(増築・建替え等)による定員拡大
3. 認可外保育施設の認可保育所、小規模保育事業等への移行
4. 民間参入による新たな施設の開設

### 人材の確保

5. 保育士の確保
  - ・保育士処遇改善ための運営費補助
  - ・職場体験講習会(ハローワーク大分と連携) H27～
  - ・保育士養成施設に通う学生を対象とした就職フェア H27～
  - ・保育所の優先利用による潜在保育士の再就職を後押し H28～
  - ・保育士業務の事務効率化支援 H28～

《参考資料》 過去5年間に於ける就学前児童数及び教育・保育(幼稚園・保育所等)の利用割合



■本市における就学前児童数は、平成26年度までほぼ横ばいで推移。平成27年度は前年度と比較して、約400人減少。

■3歳未満の児童については未就園児数が多く、3歳以上は教育・保育の利用者数が多い。

■教育・保育利用割合(折れ線グラフ)は、教育・保育需要の高まりや、保育所等の定員拡大により上昇。平成28年度についても同様に、上昇が予想される。

※各年5月1日現在。

※利用割合は、就学前児童数全体に占める、教育・保育の利用者数の割合。